

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 三の倉市民の里の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 三の倉市民の里の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 人と自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図るとともに、広く市民の生涯学習を推進するために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P36(利用率) 【利用率(全体)】 14.2% ※ 【利用率(部屋別)】 本館A:12.7% 本館B:11.6% 本館C:9.2% 本館D:11.6% ログA:17.3% ログB:22.0% ログC:15.0% (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	(新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点
			②利用人数	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P37(利用人数) 【利用人数(全体)】 21,887人 (R1)34,373人 【利用人数(部屋別)】 本館・ログハウス:1,252人 学習棟:743人 専用:832人 日帰り:480人 キャンプ(宿泊):346人 キャンプ(日帰り):2,129人 グラウンド:1,888人 テニス:425人 天文台:275人 イベント:9,511人 見学者:4,006人 (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	(新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P37、38(文化事業一覧) ①天文台等を利用した事業 ・流れ星に願いを!ペルセウス座流星群観測会 1回 312人 (50名ほどの参加予定だったが、コロナ禍で屋外イベントが人気となった。) ・大人も子供も土曜の夜はサタデースターナイト 5回 256人 ・秋の星見世 接近!火星のふしぎ 天体研究者 浅田先生に学ぶ 1回 30人 ・宿泊者限定 天文レクリエーション 4回 38人、など	仕様書以上 12点	■天文施設の管理や講師として活躍している市民団体の"地球村星倶楽部"と連携及び調整を行い、特徴ある2つの天文台を上手く活用した事業が年間を通じて実施された。コロナ禍での屋外イベントは人気があるため、感染対策も徹底して実施された。 ・ペルセウス座流星群観測会では、会場を例年のグラウンドからリニューアルしたキャンプ場に移して、キャンプ場のPRにも努めた。また予想を上回る参加者となり、急遽準備が必要となった臨時駐車場への対応も迅速に行われた。 ・サタデースターナイトは認知度が向上し、気軽に天文を学べるイベントとして定着。増加する参加者の待ち時間を退屈させない工夫として、観覧コーナーを新設するなどを行った。 ・日中の日帰り利用者に、少しでも天文事業への関心を高めたいと考え、観測所付近に天文施設や天文イベントの紹介看板の新設、本館ホールの暖炉をUFOに装飾するなどの工夫も行われた。	12点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P38~48(文化事業一覧) ・自然体験イベント 各種収穫体験 4講座 368人、親子コメコメくらぶ 3回 25人 ※2回が中止 ・学校合宿サポート 6回 219人、活動サポート 3回 256人 ・ボーイスカウトと遊ぼう 1回 158人 ・軽食&おやつ販売サービス 235回 906人 ・暖炉でサモア 76回 728人、 ・スポーツイ&お手軽おもちゃ販売サービス 78回 161人 ・工作アクティビティ 33種目 555人 ・夏限定事業 5講座 638人	期待以上 13点	■地球村の施設の特徴を生かした事業を開催。また、近年では、子供たちの学び場としてだけでなく、利用者ニーズに応えた様々なサービスを職員の工夫により実施。 ・コロナ禍のためか、例年以上に屋外イベントの各種収穫体験事業が人気となった。家族と過ごす大切な時間、自然と触れ合う大切な機会などを提供することができた。 ・中止や延期となってしまった宿泊の学校合宿に新たな体験メニューを準備するなど、職員の工夫で日帰り合宿のサポートに努めた。また、出張の工作指導の要望を受け、職員派遣を行うなど柔軟に対応。 ・アウトドアブームも後押し、「我が子をたくましく育てたい」と願う保護者の要望に応え、自然体験遊び"ボーイスカウトと遊ぼう"を各団体と調整を行い開催。 ・大人も"ゆったり"プロジェクトとして、ノンアルコールビールやドリップコーヒー、デザートなどの販売を企画して、利用者の要望に応えた事業を積極的に実施するなど、利用者を楽しませる事業、利用者が求めている事業など、職員の様々な工夫で開催がなされている。	13点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P49 特別清掃(年1回)、日常清掃(毎日)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。宿泊中止の影響から寝具の衛生管理にも努めた。	10点
			②保守・点検			年次報告書P49 消防設備点検(年1回)、空調機器点検(年4回)を実施。 ・空調機器点検は、フィルターなどの清掃実施と共にフロンガスの漏れや機器の安全確認を職員により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P49 休館日を含む毎日(365日)の警備業務を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2		④小規模修繕		<p>年次報告書P50～52 有償修理 全41件 総額 2,120,718円 ・お客様へ安心や安全を提供できるよう予防修繕（備品交換等）も積極的に実施。</p>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 天候の影響を受けやすく、経年の影響もあるため、きめ細かい注意が払われている。			
		⑤危険箇所の把握（施設の瑕疵）		<p>年次報告書P52、53 ・職員による定期点検及び利用者からの聞き取りから早急な修繕対応などを実施。 ・本館ホールの扉に指を挟まない工夫や浄化槽での事故を未然に防ぐ修繕を実施。 ・イノシシの駆除、山林散策路の整備、自然に潜む害虫駆除、危険箇所の整理整頓などを実施。 ・その他、観光コーナーを新設、新散策路を開拓、照明や防犯カメラの設置などを実施。</p>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 広大な自然のフィールド全体に目を配る必要があり、加えて防犯上の対策も意識して対応している。			
	(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	<p>年次報告書P54 ・文書管理の徹底とペーパーレス化を実施。</p>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点	
		②環境への配慮			<p>・点灯時間の長い箇所などからLED化を実施。 ・燃料費の節約を目的としたお風呂の沸かし方に工夫。</p>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			<p>・本館ホール用のベビーチェアを新設。 ・女子脱衣場に授乳コーナーを新設。</p>	期待以上 3点	適正に実施されている。 乳幼児親子向け		
		④備品管理			<p>・故障や数年使用していない備品等の廃棄を実施。 ・課題の寒さや暑さ対策用に備品を購入。</p>	適正(普通) 2点	利用満足度の向上を十分考慮した備品購入及び整備がされており期待以上。		
⑤個人情報保護		<p>・必要最小限の情報収集を徹底。 ・来館者名簿などの様式を見直し変更。</p>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする（事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点）	<p>・救急搬送なども一件もなし。 ・市民ボランティアによる山林整備がスタートとなったが事故や怪我もなく安全に実施。</p>	事故なし・対応に不備なし 0点	適正な対応がされている。	0点			
3	当該施設の経営状況（5点）	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入44,182,176円÷支出49,734,796円＝88.8%	100%未満 3点	適正である。 収入において、多治見市より別途「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として2,389,538円を交付。新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点	
4	より良い施設運営のための取組（30点）	(1)市民・利用者の声の反映（15点）	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	<p>年次報告書P55 ・屋外遊びコーナー"森っこの庭"の新設と屋外遊びグッズの充実。 ・ログハウスに"こたつ"を新設、ホットドリンクの販売サービスなど寒さ対策を実施。 ・施設案内データを作成、散策路のクイズラリーコースを新設。 ・飽きさせない工夫として、手作り工作グッズなどを充実。 ・密にならない工夫におしゃれな休憩スペースを新設。 ・男の子も女の子も楽しむことができるように遊びグッズなどをバランス良く設置。</p>	期待以上 8点	<p>■多様な要望に対して、迅速かつ適切に対応している。 ■常に利用者目線での改善が行われている。 ・安全を第一に考えた修繕、ニーズにあった設備や施設の充実。 ・コロナ禍においても、安全に楽しむことのできる施設としての工夫。 ・施設の特徴を活かした運営に努めている。更に施設の価値を高めることに期待ができる。</p>	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	<p>年次報告書P56 ・本館厨房のガス警報器が鳴りやまなくなった。 →新しい物に交換を行い、再発防止の為、職員間で情報共有を行った。 ・地域の方から木の伐採依頼があった。 →地域の方に迷惑をかけないように、早急な対応で、倒れた木を伐採し撤去した。(他、7件)</p>	苦情なし・期待以上 5点	苦情に対して迅速かつ適切、また丁寧に対処している。	5点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	<p>○運営への姿勢 ・職員による積極的な修繕と改善。 ・イベントで盛り上げる楽しい雰囲気づくり。 ○施設運営 ・新型コロナウイルス対策、多くの休憩スペースを確保。 ・アウトドアブームとコロナ禍でキャンプ場を活性化。 ・外の遊び場や癒し空間の提供。 ・外時間を満喫いただく為のテニスコート整備。 ○施設環境整備事業「本館宿泊室の窓をペアガラスに変更」 ・本館宿泊室の寒さと暑さ対策、環境に配慮した取り組み。</p>	期待以上 12点	<p>■施設管理、事業ともに利用者のニーズを的確に捉え、サービス向上に努めている。 ・限られた経費を有効に使用し、安全や利用者の満足度向上を目指した修繕や改修などが、実施されている。(できることは職員で行うなどの姿勢も評価できる。) ・コロナ禍で、様々な活動が制限される中、少しでも明るい雰囲気、利用者を受け入れようとする姿勢が感じとれる。 ・経年劣化による修繕、利用者からいただいた課題にも迅速に対応するなど積極的な取り組みができています。 ・施設環境整備事業では、本館宿泊室の全ての窓ガラスをペアガラスに交換し、省エネや冬季期間の利用率向上にも繋がる取り組みが評価できる。</p>	12点		
5	その他（減点方式）	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(重程度):△3 指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点）	適正に実施されている。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等	0	指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(その他):△3	なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし。	0点	
合計			90	<p>【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下</p>			<p>全体的な評価 ・コロナ禍での宿泊制限により施設の利用率は減少したが、日帰り利用者が大幅に増加。利用者のニーズや事業の工夫の結果と評価。 ・管理地も広く、また、老朽化が進む中、安全に配慮した施設管理がしっかりと行われている。 ・全体的な施設の管理運営について、良好に行われている。</p>	合計83点 良好	